

児童生徒の体育・スポーツ活動中における事故防止について

去る6月16日(月)、山形市立山形商業高校において、校内合宿練習中の野球部生徒が倒れ、2日後に拡張型心筋症により死亡するという事故が発生しました。

この事故を受け、下記のとおり対応を行いましたので、報告します。

記

- 1 通知の発出 (別添資料1)  
「児童生徒の体育・スポーツ活動中における事故防止について」  
(平成26年6月20日付け スポ保第418号 教育長通知)
- 2 AEDの設置状況についての調査の実施 (別添資料2)  
(平成26年6月23日付け スポ保第429号)

各県立学校長 殿

山形県教育委員会教育長

## 児童生徒の体育・スポーツ活動中における事故防止について（通知）

児童生徒等の事故防止について、日頃より御留意いただきありがとうございます。

さて、6月16日（月）、校内合宿で練習していた男子高校生が突然倒れ、2日後に拡張型心筋症による心室細動により死亡するという痛ましい事故が発生しました。

県教育委員会では、平成26年4月10日付けスポ保第66号など、これまでも事故防止の指導について通知しておりますが、下記の事項により、児童生徒等への安全指導などに万全を期すよう再度通知します。

なお、後日、AEDの設置状況等に関する調査を行いますので、御承知おき願います。

## 記

## 1 体育・スポーツ活動における児童生徒の健康管理について

- (1) 健康診断結果及び日常の健康観察や一人一人の体力に配慮すること。
- (2) 活動時における気候、天候等の気象条件にも十分配慮すること。特に炎天下・高温下における活動について留意し、熱中症等の防止につとめること。
- (3) 特に健康面で配慮を要する生徒には、本人の指導とともに、全教職員の共通理解、家庭・学校医（担当医）との連携のもと、指導にあたること。

## 2 AEDの設置場所及び夜間等の使用について

- (1) AEDを、部活動を含む課外活動の際にも使用できる適切な場所に設置しているか、校内で検討するとともに、設置場所について、全職員に周知徹底を図ること。
- (2) AEDの設置場所及び夜間等の使用について、各校で作成の危機管理マニュアルに記載しているか確認するとともに、実効性のあるマニュアルになるよう改善を図り、全職員に周知徹底すること。
- (3) 生徒や職員を対象として、AED使用を含めた心肺蘇生法等の講習会を開催することや、地域の各機関で開催されるAED講習会への参加等を促すなどを通して、実際にAEDを使用できる技能を持たせること。

## 3 体育・スポーツ活動における指導及び指導体制の再点検について

- (1) 指導計画に則った指導であること。
- (2) 児童生徒等の発育・発達段階に応じた指導内容であること。
- (3) 児童生徒の活動状況に応じた指導体制であること。
- (4) 児童生徒が常に自分自身の身体状況に関心を持ち、体調が悪い場合は指導者に報告したり、体育・スポーツ活動をやめたりする等の自己管理ができるよう指導すること。
- (5) 大会等への参加については、計画・体制を整備し、きめこまかな指導の徹底を図ること。

(本件連絡先)

教育庁スポーツ保健課 学校体育担当 石田  
Tel 023(630)2852 Fax 023(630)2893

資料 2

スポ保第429号  
平成26年6月23日

各県立学校長 殿

教育庁スポーツ保健課長

AEDの設置状況等についての調査（依頼）

このことについては、各学校において適切に対処いただいていることと存じますが、各学校のAED設置状況等について、下記により提出願います。

記

- 1 報告書類  
様式1 AEDの設置状況等について（エクセルファイル）
- 2 報告期限 平成26年7月18日（金）
- 3 報告先 下記担当宛 E-mail に電子データを添付して提出

（担 当）

教育庁スポーツ保健課

学校体育担当 石 田

電話 023（630）2852

Fax 023（630）2893

E-mail:ishidamit@pref.yamagata.jp

### AED設置状況等調査

シート 番号		学校名	記入者 職・氏名
-----------	--	-----	----------

該当する校種の  に「1」を入力ください。

中学校  高校  特別支援学校

☆TEL ( ) -

**【学校保健】**

1. AEDの設置状況について

(1) 学校にAEDは設置していますか。                      ①いる          ②いない

1	(1)	①		②	
---	-----	---	--	---	--

設置している場合      設置台数(県費、寄贈、レンタル、部が所有等を問わず)

①正面玄関      ②生徒昇降口      ③体育館      ④合宿所      (複数回答可)

		台	
①		②	
③		④	

⑤その他(下記に記述)

未設置の理由 (  )

未設置の場合、必要になったときの対応

(  )

(2) AEDの設置場所を全職員に周知していますか。                      ①いる          ②いない

(2)	①		②	
-----	---	--	---	--

(3) AEDの設置場所を生徒に周知していますか。                      ①いる          ②いない

(3)	①		②	
-----	---	--	---	--

(4) AEDの設置場所を地域住民等に周知していますか。                      ①いる          ②いない

(3)	①		②	
-----	---	--	---	--

2. AED使用の体制等についてお聞きします。

(1) 危機管理マニュアルにAED使用の記載がされていますか。                      ①いる          ②いない((3)へ)

2	(1)	①		②	
---	-----	---	--	---	--

(2) 危機管理マニュアルに、夜間・休日等にAEDを使用する場合の体制が記載されていますか。                      ①いる          ②いない

(2)				
-----	--	--	--	--

(3) 課外活動中にAEDが必要な場合使用できる体制が整っていますか。                      ①いる          ②いない

(3)	①		②	
-----	---	--	---	--

(4) 夜間・休日等、校舎の施錠時にAEDが必要な場合、使用できる体制が整っていますか。                      ①いる          ②いない

(4)	①		②	
-----	---	--	---	--

(5) 校内で、職員対象のAED講習会等を開催していますか。(H26開催予定含)                      ①いる          ②いない

(5)	①		②	
-----	---	--	---	--

(6) 地域等の各機関が開催する職員対象のAED講習会等に職員(1名以上)が参加していますか。(H26参加予定含)                      ①いる          ②いない

(6)	①		②	
-----	---	--	---	--

(7) 校内で、生徒(全員でなくとも)対象のAED講習会等(授業含)を開催していますか。(予定含)                      ①いる          ②いな

(7)	①		②	
-----	---	--	---	--

3. AEDの使用について 緊急時に使用することを想定した場合、学校の実態を踏まえた課題を御記入ください。

4. AEDの使用について 学校の管理上から課題と感じていることがあれば下記に御記入ください。

# 社会の変化に対応した県立高校の将来の在り方について 報告書 【 概要版 】

平成26年7月 県立高校の将来の在り方検討委員会

## I 検討の概要

県立高校の将来の在り方検討委員会は、平成25年9月6日、県教育長から検討の依頼を受け、少子化や社会経済のグローバル化など、社会の変化に対応した県立高校の将来の在り方について、様々な立場から多角的に議論を重ねてきました。中学生、高校生、保護者、教員合わせて約8,000人を対象とした高校教育に関する意識調査、産業関係者、小規模校が所在する市町の首長や教育長、私立高校関係者などを対象とした意見聴取を実施し、いただいた意見を参考にしながら議論を深め、国が進める教育改革にも注視しながら、このたび、県立高校の今後10年間のあるべき姿を「報告書」として取りまとめました。

県教育委員会は、この「報告書」の趣旨を踏まえて「県立高校再編整備基本計画」（以下、「次期計画」という。）を策定し、次代を担う子どもたちが、夢と志を持って未来を切り拓くことのできる教育環境が整備されることを期待します。

## II 今後の高校教育に求められるもの

### 1 挑戦する意欲を引き出す教育

- ◇多様な価値観に触れる機会の提供と、互いに高めあうことのできる学習環境の整備
- ◇グローバル化に対応した教育の推進と、ICTを活用した効果的な指導方法の研究

### 2 学力の向上に向けた取組

- ◇確かな学力の定着と、高い志を持ち、自ら学び考える主体的な学習への転換
- ◇問題解決能力等を育てる授業形態の研究など、教員の指導力の向上

### 3 地域を支える人材の育成

- ◇郷土愛を育み、生命や伝統文化を継承し、地域の発展を担う人材の育成
- ◇地域産業等の先進的な取組を学ぶ機会を設け、グローバルな視点を持つ人材の育成

### 4 幅広い選択肢の確保

- ◇教育機会の地域間格差が拡大しないよう配慮し、幅広い選択肢を確保した再編整備
- ◇小規模校での教育の質保証と、キャンパス制や地域と連携した教育活動の充実

### 5 キャリア教育の充実

- ◇社会性やコミュニケーション能力の養成と、他者と協調・協働する力の育成
- ◇県内大学等への進学者数の増加を図るとともに、県外進学者のUターンを促す取組

### 6 多様な生徒の学びの保障

- ◇「学び直し」など多様な学習ニーズへの対応と、夜間定時制の昼間定時制への移行
- ◇体験的な活動の充実や外部関係機関との連携により、社会的な自立に向けた支援

### Ⅲ 生徒数の減少に応じた県立高校再編整備の在り方

#### 1 中学校卒業生数に応じた入学定員の設定

- (1) 「次期計画」期間中に中学校卒業生が約1,800人減少することに対応するとともに、公私立高校の入学者の比率が県全体で概ね7:3となるよう、公立高校で35学級程度を削減する。
- (2) 各地区の入学定員の設定に当たっては、中学校卒業生数の推移、私立高校の配置状況、充足率が低い公立の小規模校や定時制の配置状況、地区間の通学の状況等の地域の実情を十分に考慮する。

#### 2 県立高校の再編整備に関する基本方針

- (1) 再編整備による新しい学校づくりなどを通して、高校として望ましい学校規模(1学年当たり4~8学級)を確保し、教育の質的な向上と学校の活力の保持を図ることを基本とする。なお、1学年当たり4学級を下回る学校については、キャンパス制の導入や地域との連携等により、教育環境の改善に努める。
- (2) 1学年当たり2学級の学校については、入学人数が2年連続して入学定員の3分の2に満たない場合は、その翌年度から入学定員を1学級分に減じ、更にその2年後に分校とする。ただし、この基準の適用に当たっては、学科等の特殊性や交通事情等の地域の実情に十分に配慮する。
- (3) 1学年当たり1学級の学校\*については、入学人数が2年連続して入学定員の2分の1に満たない場合は、交通事情等の地域の実情に配慮しながら、原則としてその2年後に募集停止とする。\*この場合、分校も1つの学校と見なす。

#### 3 各学科の配置に関する基本方針

- 本県の学科構成比は、全国に比べ普通科の割合が低く、専門学科が高い傾向にあるが、専門学科については、本県産業の基盤となる人材育成の場として欠かせないという社会的ニーズを踏まえ、配置については総合的な観点から検討する。
- (1) 普通科及び普通科系の専門学科(理数・体育・音楽)
  - ◇ 8地区ごとに、大学等への進学を希望する生徒への指導体制を整えるために望ましい規模の学校を少なくとも1校配置する。また、必要に応じて普通科高校(普通科系の専門学科との併設校を含む)の再編を検討する。
- (2) 職業に関する専門学科(農業・工業・商業・水産・家庭(含福祉)・看護・情報)
  - ◇ 全ての学科の学習の場を確保する。
  - ◇ 1学年4学級以上の単独校については、原則として単独校として維持する。
  - ◇ 1学年4学級を下回る単独校については、地域産業等のニーズに配慮し、当面は単独校として維持しながらも、更に小規模化が想定される場合には、他学科との再編を検討する。
- (3) 総合学科
  - ◇ 8地区ごとに、少なくとも1校の配置を検討する。  
[飽海地区] 平成27年度に遊佐高校に設置予定  
[最上地区] 最上地区の県立高校再編整備計画を具体化する中で設置を検討
  - ◇ その他の地区への更なる設置については、生徒・保護者や地域産業等のニーズを踏まえて検討する。

#### 4 特色ある学校の配置に関する基本方針

##### (1) 総合選択制高校

- ◇ 学校や地域の実情に配慮し、高校教育における質の保証と学校活力の保持の観点から、小規模化する専門高校等を再編し、学科の枠を越えた学習ができる総合選択制高校の設置を検討する。

##### (2) 中高一貫教育校

- ◇ 平成 28 年度に東根市に併設型中高一貫教育校を設置する。庄内地区への設置については、同校の成果を踏まえるとともに、地域の意見を聞きながら検討する。

##### (3) 普通科単位制高校（全日制）

- ◇ 学校独自の科目を含む充実した教育課程を編成し、生徒の多様な進路希望や学習要求に対してきめ細かく対応する普通科単位制高校を、8 地区に少なくとも 1 校ずつ配置できるよう、東南村山地区の普通科高校への導入を検討する。

##### (4) 定時制・通信制高校

- ◇ 多様な生徒が、それぞれの実情に応じて学習の時間帯や形態を選択することができる新しいタイプの高校を、庄内地区へ設置することについて積極的に検討する。また、夜間定時制については、状況が整った地区から昼間定時制へ移行することが望ましい。

#### 5 小規模校の特色づくり

##### (1) キャンパス制の取組

- ◇ 合同での学校行事や生徒会活動、部活動、ボランティア活動など、スケールメリットを生かした教育活動の充実や、相互の専門性を生かした資格取得の支援など、キャンパス制には、連携交流を通じた教育環境の改善が期待される。
- ◇ 地域産業や文化への理解を深め、将来同じ地域で、互いに協力し合いながら地域を支えていくという観点からの連携交流も期待されることから、教職員への負担増にも配慮しながら継続することが望ましい。

##### (2) 地域との連携

- ◇ 郷土愛が深まるよう、高校生が単に参加協力するだけでなく、企画段階から参画し、伝統行事や地域活動の担い手となるような仕組みづくりが求められる。
- ◇ 学校には、地域課題を見つめ直し、高校生の視点や発想を生かした活性化策を提案するなど、地域産業や地域社会と連携した教育活動が求められる。

#### 6 各地区の県立高校再編整備に関する基本方針

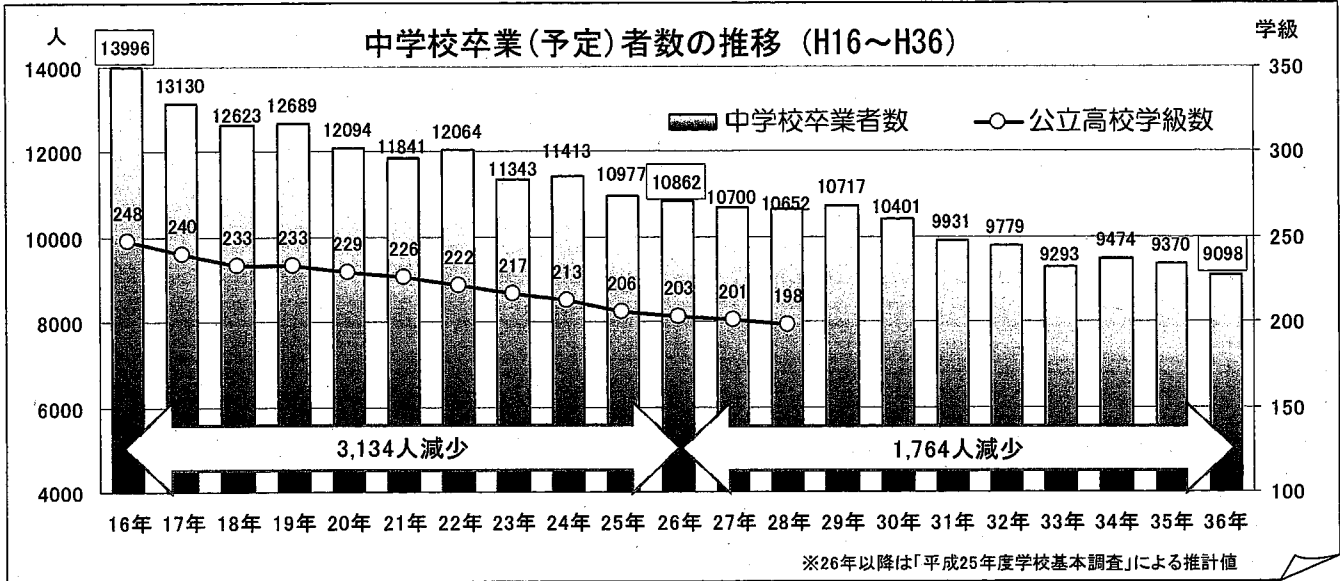
##### (1) 西村山地区、北村山地区、最上地区、西置賜地区、田川地区、飽海地区

- ◇ 検討委員会報告書等を踏まえて策定した当該地区の県立高校再編整備計画（飽海地区については新高校構想）に基づき、私立高校にも配慮しながら、その実現に向けて計画を進める。

##### (2) 東南村山地区、東南置賜地区

- ◇ 東南置賜地区については「次期計画」期間の前半に、東南村山地区については「次期計画」期間の後半に検討委員会を設置し、具体的な改革に着手する。

# IV 参考資料

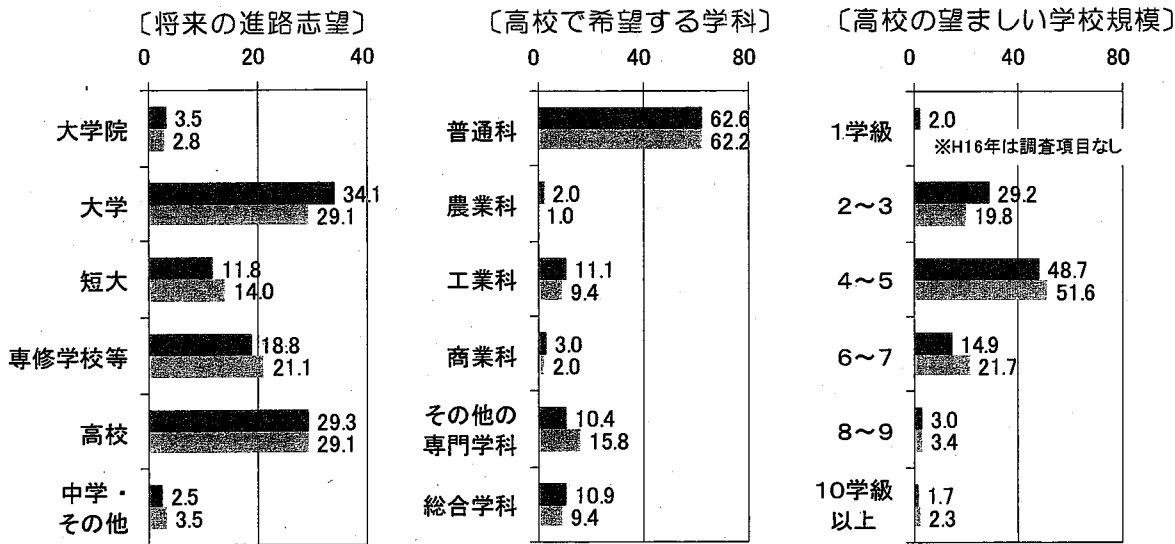


### 公立高校(全日制)の学科別学級数〔学科別構成比〕

学科	普通	普通系専門			職業系専門							総合	計
		理数	体育	音楽	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報		
H26	102	3	2	1	11	32	16	2	2	1	1	23	196
	52.0%	1.5%	1.0%	0.5%	5.6%	16.3%	8.2%	1.0%	1.0%	0.5%	0.5%	11.7%	
全国	65.5%	1.1%	0.4%	0.3%	4.0%	9.7%	7.7%	0.5%	1.1%	0.2%	0.1%	7.1%	
H16	131	3	2	1	15	41	25	2	4	1	0	16	241
	54.4%	1.2%	0.8%	0.4%	6.2%	17.0%	10.4%	0.8%	1.7%	0.4%	0.0%	6.6%	
比較	▲29	0	0	0	▲4	▲9	▲9	0	▲2	0	1	7	▲45

### 中学3年生の意識 (10年前との比較)

■平成26年  
■平成16年



《ご意見・お問い合わせ》 山形県教育庁高校教育課 高校改革推進室  
 〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 TEL 023-630-2493 FAX 023-630-2774

※ 本検討委員会に関する情報は、山形県のホームページでご覧になれます。「県立高校の将来の在り方検討委員会」で検索してください。



サカタ

# SKT IT-ACE プロジェクト

世界を変える・未来を変える「IT技術者」の育成

情報イノベーション力

情報系大学・大学校・企業との連携

創造的な能力  
実践的な態度

必要とする資質の育成

技術力 IT

高度情報  
テクノロジーの育成  
(Information Technology)

- a 情報技術者試験への取り組み
- b 高度専門資格への取り組み
- c 県立産業技術短期大学校との連携による技能五輪への取り組み
- d 地域内での5年一貫教育への取り組み

思考力 A

アルゴリズム的  
思考力の育成  
(Algorithmic Thinking)

- a ICTを活用した授業改善・研究
- b ロボットを活用したアルゴリズム的思考力の育成の研究
- c オンラインセミナーやプログラミングコンテストへの参加と支援
- d 「SPアルゴリズム」の開設とカリキュラム開発

創造力 C

システム創造力の  
育成  
(System Creativity)

- a 大学・企業・地域等と連携した課題研究の充実
- b システム・テクノロジー・コンテンツ分野における「創造力ゼミ」の実施
- c ITサイエンス部の活性化
- d SPH研究発表会の実施



E

高い職業倫理観の育成 (Information Ethics)

- a 最先端研究施設訪問
- b 大学・企業訪問
- c 情報科アドバイザー事業
- d 国際技術交流
- e 長期インターンシップの実施と支援
- f スーパープロフェッショナルインターンシップの実施と支援
- g 他校の情報科生徒との交流
- h 小・中学生への情報活動支援

連携

地域

- ・庄内地区の企業
- ・酒田市
- ・小学校・中学校など

学術機関

- ・山形大学
- ・東北芸術工科大学
- ・山形県立産業技術短期大学校庄内校
- ・東京電気大学など

校内

- ・機械科
- ・電子機械科
- ・エネルギー技術科
- ・環境技術科
- ・国際経営科
- ・普通科
- ・研究推進委員会

学習環境

学校と家庭との学習環境のシームレス化の研究

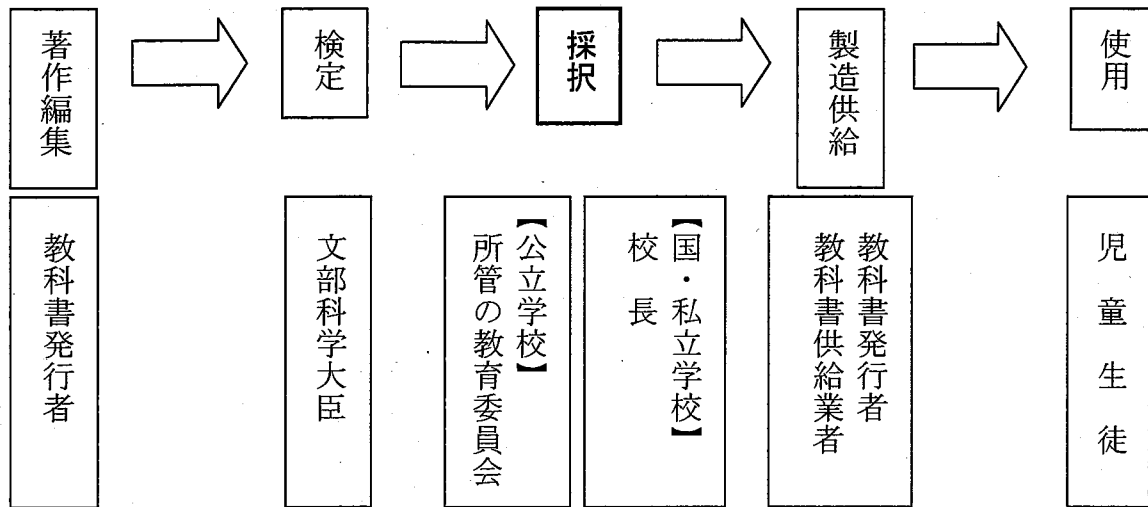
高度専門資格取得のための環境構築

【参考資料 1】

# 県立学校における平成27年度使用教科用図書について

## 教科書が使用されるまでの基本的な流れ

### 1 基本的な流れ



### 2 教科用図書の採択

使用する教科書を、教科書目録の中から選び出し決定すること

#### (1) 採択の権限

- ア 公立学校で使用される教科書 → 所管の教育委員会  
【地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第6号】
- イ 国立又は私立学校で使用される教科書 → 校長

#### (2) 県立学校の平成27年度教科用図書採択に関する基本方針

県立学校の教科用図書は、校長が学校の教育目標、教育課程及び児童生徒の実態に応じて選定したものの中から、県教育委員会が審査し採択する。

## 【参考資料2】

# 平成27年度使用教科用図書採択までの流れ

- 1 各県立学校における教科書の調査研究・・・4月～7月
  - (1) 見本本による調査研究
  - (2) 「教科書編集趣意書」による調査研究  
教科書目録（平成27年度使用）に掲載されている教科書の調査研究  
※法定教科書展示会（6月13日から14日間）
- 2 「教科書選定委員会」の設置・・・4月～
  - (1) すべての県立学校に設置
  - (2) 公正の確保及び選定事務の適正化
  - (3) 学校の特色や児童・生徒の実態、指導目標、教育課程を踏まえた組織的な教科書の選定
- 3 教科書審査会の実施・・・7月8日(火)、10日(木)、11日(金)、16日(水)  
教育委員会事務局の指導主事が、次のことを行う。
  - (1) 各校の教育課程表との照合
  - (2) 選定理由の確認後、指導・助言
- 4 教科用図書採択について教育委員への報告・・・7月10日（木）定例教育委員会
- 5 教育委員会付議資料作成作業・・・7月下旬～8月下旬
  - (1) 教育委員会に付議するための資料の作成（選定一覧表及び選定理由書）
- 6 教育委員による教科書研究（県立特別支援学校小学部、中学部）  
・・・8月7日（木）定例教育委員会
  - (1) 各校の教科書選定理由書による教科書研究（県立特別支援学校小学部、中学部）
    - ア 各校が選定したすべての教科書についての確認
    - イ 各校の教科書選定の観点（学校の特色や児童・生徒の実態を踏まえた選定の方針等）の検討
    - ウ 教科書ごとの選定理由の検討
- 7 県立特別支援学校小学部、中学部における平成27年度使用教科用図書の採択について付議・・・8月7日（木）定例教育委員会
- 8 教育委員による教科書研究（県立高等学校並びに県立特別支援学校高等部）  
・・・9月12日（金）定例教育委員会
  - (1) 各校の教科書選定理由書による教科書研究（県立高等学校並びに県立特別支援学校高等部）
    - ア 各校が選定したすべての教科書についての確認
    - イ 各校の教科書選定の観点（学校の特色や児童・生徒の実態を踏まえた選定の方針等）の検討
    - ウ 教科書ごとの選定理由の検討
- 9 教育委員会に県立高等学校並びに県立特別支援学校高等部における平成27年度使用教科用図書の採択について付議・・・9月12日（金）
- 10 教科書需要数集計作業・・・9月上旬
  - (1) 県内すべての高等学校用教科書（県立・市立・私立・高専で使用）並びに特別支援学校の学校別・教科別需要数の集計及び発行者別需要数の集計

【参考資料3】

平成25年度に検定を経た教科用図書（高等学校）について

（文部科学省ホームページより）

○文部科学省告示第七十号

教科用図書検定規則（平成元年文部省令第二十号）第十九条第一項の規定に基づき、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において使用される教科用図書として検定を経た図書の名称等を次のとおり告示する。

平成二十六年四月三十日

文部科学大臣臨時代理 国務大臣 田村 憲久

（図書のリストは次頁以降に掲載）

図書の名称	目的とする 学校・教科	検定の年月日	著作者名	発行者
国語表現	高 国語	平成26年 3月 5日	三角 洋一ほか	東書
国語表現	高 国語	平成26年 3月 5日	北原 保雄ほか	大修館
現代文A	高 国語	平成26年 3月 5日	中瀬 正堯ほか	三省堂
現代文A	高 国語	平成26年 3月 5日	北原 保雄ほか	大修館
高等学校 新編現代文A	高 国語	平成26年 3月 5日	東郷 克美ほか	第一
古典A	高 国語	平成26年 3月 5日	中瀬 正堯ほか	三省堂
古典A 物語選	高 国語	平成26年 3月 5日	北原 保雄ほか	大修館
古文(大鏡・源氏物語) 漢文(詩文・歴史)	高 国語	平成26年 3月 5日	安斎 久美子ほか	右文
物語(竹取物語 伊勢物語 大和物語 落窪物語 源氏物語 堤中納言物語) 和歌(古今和歌集後 撰和歌集 拾遺和歌集) 随想・日記(枕草子 和泉式部日記 紫式部日記)	高 国語	平成26年 3月 5日	安斎 久美子ほか	右文
物語・小説(伊勢物語・源氏物語・大鏡・日本永 代蔵・雨月物語) 評論(古今和歌集仮名序・無 名草子・笈の小文・源氏物語玉の小櫛) 漢詩・ 思想 史伝	高 国語	平成26年 3月 5日	安斎 久美子ほか	右文
徒然草 説話(古今著聞集十訓抄 宇治拾遺物語 古事談 今昔物語集) 枕草子	高 国語	平成26年 3月 5日	安斎 久美子ほか	右文
古典A [古文・漢文] 物語・史伝選	高 国語	平成26年 3月 5日	鈴木 日出男ほか	筑摩
高等学校 古典A 大鏡 源氏物語 諸家の文章	高 国語	平成26年 3月 5日	伊井 春樹ほか	第一
高等学校 古典B	高 国語	平成26年 3月 5日	伊井 春樹ほか	第一
生物	高 理科	平成26年 2月 28日	庄野 邦彦ほか	実教
音楽Ⅲ	高 芸術	平成26年 3月 10日	新実 徳英ほか	教出
Joy of Music	高 芸術	平成26年 3月 10日	小原 光一ほか	教芸
高校生の音楽3	高 芸術	平成26年 3月 10日	山本 文茂ほか	友社
美術3	高 芸術	平成26年 2月 24日	酒井 忠康ほか	光村
高校美術3	高 芸術	平成26年 2月 24日	原 研哉ほか	日文
書道Ⅲ	高 芸術	平成25年12月20日	石飛 博光ほか	東書
書Ⅲ	高 芸術	平成25年12月20日	關 正人ほか	教図
書道Ⅲ	高 芸術	平成25年12月20日	角井 博ほか	教出
書Ⅲ	高 芸術	平成25年12月20日	高木 聖雨ほか	光村
All Aboard! Communication English Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	清田 洋一ほか	東書
Power On Communication English Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	浅見 道明ほか	東書
PROMINENCE Communication English Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	田辺 正美ほか	東書
Discovery English Communication Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	生井 健一ほか	開隆堂
CROWN English Communication Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	霜崎 實ほか	三省堂
MY WAY English Communication Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	森住 衛ほか	三省堂
New ONE WORLD Communication Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	伊東 治己ほか	教出
Compass English Communication Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	岡田 圭子ほか	大修館
Genius English Communication Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	村野井 仁ほか	大修館
ELEMENT English Communication Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	卯城 祐司ほか	啓林館
LANDMARK English Communication Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	竹内 理ほか	啓林館
POLESTAR English Communication Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	松坂 ヒロンほか	数研
BIG DIPPER English Communication Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	畠山 利一ほか	数研
UNICORN English Communication 3	高 外国語	平成26年 3月 14日	市川 泰男ほか	文英堂
Grove English Communication Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	倉持 三郎ほか	文英堂
MAINSTREAM English Communication Ⅲ Strategic Reading Focus Advanced	高 外国語	平成26年 3月 14日	鈴木 寿一ほか	増進堂
NEW STREAM English Communication Ⅲ Strategic Reading Focus Standard	高 外国語	平成26年 3月 14日	鈴木 寿一ほか	増進堂
Perspective English Communication Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	野村 和宏ほか	第一
Vivid English Communication Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	築道 和明ほか	第一
PRO-VISION English Communication Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	田中 茂範ほか	桐原
WORLD TREK English Communication Ⅲ	高 外国語	平成26年 3月 14日	望月 正道ほか	桐原
SCREENPLAY English Expression Ⅱ	高 外国語	平成26年 3月 14日	鈴木 達也ほか	スクリ
ATLANTIS English Expression Ⅱ	高 外国語	平成26年 3月 14日	Steven Mitchellほか	チアーズ

図書の名称	目的とする 学校・教科	検定の年月日	著作者名	発行者
作物	高 農業	平成26年 2月20日	平沢 正ほか	実教
畜産	高 農業	平成26年 2月20日	近藤 誠司ほか	実教
農業機械	高 農業	平成26年 2月20日	木谷 収ほか	実教
通信技術	高 工業	平成26年 2月 3日	植松 友彦ほか	実教
コンピュータシステム技術	高 工業	平成26年 2月24日	茅野 昌明ほか	実教
建築施工	高 工業	平成26年 2月 3日	大野 義照ほか	実教
建築法規	高 工業	平成26年 2月 3日	大村 謙二郎ほか	実教
土木構造設計	高 工業	平成26年 2月 3日	川島 一彦ほか	実教
社会基盤工学	高 工業	平成26年 2月 3日	沖 大幹ほか	実教
地球環境化学	高 工業	平成26年 2月 3日	鈴木 基之ほか	実教
広告と販売促進	高 商業	平成25年12月20日	武井 寿ほか	実教
ビジネス経済応用	高 商業	平成25年12月20日	赤岡 功ほか	実教
経済活動と法	高 商業	平成25年12月20日	森島 昭夫ほか	実教
経済活動と法	高 商業	平成25年12月20日	長瀬 二三男ほか	東法
財務会計Ⅱ	高 商業	平成25年12月20日	大塚 宗春ほか	実教
管理会計	高 商業	平成25年12月20日	伊藤 博ほか	実教
電子商取引	高 商業	平成26年 2月24日	中澤 興起ほか	実教
電子商取引	高 商業	平成26年 2月24日	丸山 正博ほか	東法
ビジネス情報管理	高 商業	平成26年 2月24日	中澤 興起ほか	実教
ネットワークシステム	高 情報 (専門)	平成26年 2月10日	山下 博通ほか	実教
データベース	高 情報 (専門)	平成26年 2月10日	平井 利明ほか	実教
情報デザイン	高 情報 (専門)	平成26年 2月10日	中川 憲造ほか	実教
コミュニケーション技術	高 福祉	平成26年 2月 5日	川井 太加子ほか	実教
介護過程	高 福祉	平成26年 2月 5日	田中 由紀子ほか	実教

【参考資料4】

## 山形県立特別支援学校で使用する教科用図書

特別支援学校で使用している教科書は、大きく以下の3つに分類される。

### 1 文部科学省検定済教科書

□文部科学省の検定を経た教科書

→ 文部科学省「小学校用教科書目録」「中学校用教科書目録」  
「高等学校用教科書目録」より採択

### 2 文部科学省著作教科書

□文部科学省が著作の名義を有する教科書

特別支援学校用の教科書が発行されていないため、文部科学省で編集した教科書

(1) 特別支援学校視覚障害者用 [点字版] 1の検定済教科書を点字訳したもの

小学部用「国語」「社会」「算数」「理科」

中学部用「国語」「社会：地理分野、歴史分野、公民分野」「数学」

「理科」「外国語（英語）」

(2) 特別支援学校聴覚障害者用

小学部用「国語（言語指導）」「音楽」

中学部用「国語（言語）」

(3) 特別支援学校知的障害者用

小学部用「こくご☆～☆☆☆」「さんすう☆～☆☆☆」「おんがく☆～☆☆☆」

中学部用「国語☆☆☆☆」「数学☆☆☆☆」「音楽☆☆☆☆」

→ 文部科学省「特別支援学校用（小・中学部）教科書目録」より採択

### 3 一般図書（特別支援学校・特別支援学級用）

□文部科学省著作教科書に加え、児童生徒の実態に応じるため、学校教育法附則第9条により、1・2以外に市販の一般図書を使用することができる。

(1) 絵本等の図書

→山形県教育委員会作成「平成27年度用 一般図書一覧」より選定

(2) 点字版教科書 小学部用「地図」「音楽」「保健」「家庭」「技術・家庭」

中学部用「地図」「音楽・器楽」「保健体育」

「技術・家庭」の検定済教科書を点字訳したもの

(3) 拡大教科書 検定教科書を拡大したもので弱視児童生用

議第 1 号

山形県立高等学校における平成 26 年度使用教科用図書採択の一部変更  
について

山形県立高等学校における平成 26 年度使用教科用図書採択の一部を別紙のとおり変更する。

提 案 理 由

山形県立高等学校において、平成 26 年度に使用する教科用図書の採択を変更するため提案するものである。

平成 26 年 7 月 10 日提出

山形県教育委員会

教育長 菅 野 滋



## 平成26年度使用教科用図書 統括表(1)

区分	文部科学省 検定済教科書		文部科学省 著作教科書		合 計		本県の選定数	
	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数
第1部	種 536	点 565	種 41	点 44	種 577	点 609	種 464	点 488
第2部	669	687	42	46	711	733	291	297
第3部	4	5	0	0	4	5	0	0
合計	1,209	1,257	83	90	1,292	1,347	755	785

※1 「種類数」とは教科書の種類数、「点数」とは教科書の数をいい、例えば「国語総合」の教科書で現代文編と古典編に分冊となっている場合は、種類数1、点数2とカウントする。

※2 第1部 新学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）に基づいて編集された文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教科書

第2部 従来の学習指導要領（平成11年文部省告示第58号）に基づいて編集された文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教科書

第3部 従前の学習指導要領（平成元年文部省告示第26号）に基づいて編集された文部科学省検定済教科書

## 平成26年度使用教科用図書 統括表(2)

## 第1部 新学習指導要領(平成21年文部科学省告示第34号)に基づいて編集された教科書

## ◇共通教科

文部科学省検定済教科書				本県の選定数					
				高等学校		特別支援学校		計	
教科	種目(科目)	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数
国語	国語総合	23	31	17	23	5	6	17	24
	国語表現	3	3	3	3	2	2	3	3
	現代文A	2	2	1	1	0	0	1	1
	現代文B	19	20	14	15	2	2	14	15
	古典A	5	5	2	2	0	0	2	2
	古典B	18	27	11	17	0	0	11	17
地理歴史	世界史A	9	9	9	9	3	3	9	9
	世界史B	7	7	4	4	1	1	5	5
	日本史A	7	7	5	5	2	2	6	6
	日本史B	8	8	7	7	1	1	7	7
	地理A	6	6	6	6	3	3	6	6
	地理B	3	3	3	3	1	1	3	3
	地図	8	8	4	4	1	1	4	4
公民	現代社会	12	12	8	8	3	3	8	8
	倫理	7	7	5	5	1	1	6	6
	政治・経済	8	8	5	5	0	0	5	5
数学	数学Ⅰ	16	16	13	13	3	3	13	13
	数学Ⅱ	16	16	14	14	3	3	15	15
	数学Ⅲ	14	14	10	10	0	0	10	10
	数学A	16	16	13	13	2	2	13	13
	数学B	15	15	13	13	1	1	13	13
	数学活用	2	2	2	2	1	1	2	2
理科	科学と人間生活	5	5	5	5	1	1	5	5
	物理基礎	10	10	8	8	1	1	8	8
	物理	6	7	4	5	0	0	4	5
	化学基礎	12	12	11	11	3	3	11	11
	化学	7	7	7	7	2	2	7	7
	生物基礎	10	10	9	9	3	3	9	9
	生物	4	4	4	4	2	2	4	4
	地学基礎	5	5	4	4	2	2	5	5
地学	2	2	2	2	0	0	2	2	
保健体育	保健体育	3	3	3	3	1	1	3	3
芸術	音楽Ⅰ	6	6	5	5	3	3	5	5
	音楽Ⅱ	6	6	5	5	1	1	5	5
	美術Ⅰ	3	3	3	3	2	2	3	3
	美術Ⅱ	2	2	2	2	1	1	2	2
	工芸Ⅰ	1	1	1	1	0	0	1	1
	工芸Ⅱ	1	1	0	0	0	0	0	0
	書道Ⅰ	4	4	4	4	1	1	4	4
	書道Ⅱ	4	4	4	4	1	1	4	4
外国語	コミュニケーション英語基礎	1	1	1	1	0	0	1	1
	コミュニケーション英語Ⅰ	25	25	21	21	4	4	21	21
	コミュニケーション英語Ⅱ	25	25	20	20	3	3	20	20
	英語表現Ⅰ	20	20	11	11	2	2	11	11
	英語表現Ⅱ	14	14	7	7	0	0	7	7
	英語会話	4	4	4	4	0	0	4	4
家庭	家庭基礎	10	10	9	9	2	2	9	9
	家庭総合	6	6	6	6	3	3	6	6
	生活デザイン	1	1	0	0	0	0	0	0
情報	社会と情報	8	8	8	8	3	3	8	8
	情報の科学	5	5	3	3	1	1	3	3
	小計	434	453	340	354	77	78	345	360

## 平成26年度使用教科用図書 統括表(3)

第1部 新学習指導要領(平成21年文部科学省告示第34号)に基づいて編集された教科書

## ◇専門教科

文部科学省検定済教科書				本県の選定数					
				高等学校		特別支援学校		計	
教科	種目(科目)	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数
農業	農業	10	10	10	10	0	0	10	10
工業	工業	50	60	42	51	3	3	42	51
商業	商業	24	24	23	23	3	3	23	23
水産	水産	2	2	2	2	0	0	2	2
家庭(専門)	家庭	6	6	6	6	0	0	6	6
情報(専門)	情報	6	6	5	5	0	0	5	5
福祉	福祉	4	4	4	4	0	0	4	4
	小計	102	112	92	101	6	6	92	101

文部科学省著作教科書				本県の選定数					
				高等学校		特別支援学校		計	
教科	種目(科目)	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数
農業	農業	7	7	4	4	0	0	4	4
工業	工業	13	13	2	2	0	0	2	2
水産	水産	10	13	11	11	0	0	11	11
家庭(専門)	家庭	4	4	4	4	0	0	4	4
看護	看護	7	7	6	6	0	0	6	6
	小計	41	44	27	27	0	0	27	27

## 平成26年度使用教科用図書 統括表(4)

第2部 従来の学習指導要領(平成11年文部省告示第58号)に基づいて編集された教科書

## ◇普通教科

文部科学省検定済教科書				本県の選定数					
教科	種目(科目)	種類数	点数	高等学校		特別支援学校		計	
				種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数
国語	国語表現Ⅰ	6	6	5	5	1	1	5	5
	国語表現Ⅱ	6	6	4	4	2	2	4	4
	国語総合	10	12	2	2	0	0	2	2
	現代文	25	25	8	8	1	1	9	9
	古典	19	26	4	5	1	1	5	6
	古典講読	19	19	9	9	0	0	9	9
地理歴史	世界史A	11	11	5	5	1	1	6	6
	世界史B	11	11	2	2	0	0	2	2
	日本史A	7	7	5	5	2	2	5	5
	日本史B	11	11	5	5	0	0	5	5
	地理A	8	8	5	5	1	1	5	5
	地理B	6	6	3	3	1	1	3	3
	地図	8	8	4	4	0	0	4	4
公民	現代社会	16	16	6	6	2	2	7	7
	倫理	10	10	5	5	1	1	5	5
	政治・経済	15	15	9	9	0	0	9	9
数学	数学基礎	4	4	1	1	0	0	1	1
	数学Ⅰ	3	3	0	0	0	0	0	0
	数学Ⅱ	16	16	1	1	0	0	1	1
	数学Ⅲ	11	11	1	1	0	0	1	1
	数学A	15	15	2	2	1	1	2	2
	数学B	14	14	1	1	0	0	1	1
	数学C	10	10	0	0	0	0	0	0
理科	理科基礎	3	3	0	0	0	0	0	0
	理科総合A	8	8	1	1	0	0	1	1
	理科総合B	7	7	0	0	0	0	0	0
	物理Ⅰ	6	6	1	1	0	0	1	1
	物理Ⅱ	4	4	0	0	0	0	0	0
	化学Ⅰ	11	11	1	1	0	0	1	1
	化学Ⅱ	6	6	1	1	0	0	1	1
	生物Ⅰ	10	10	1	1	0	0	1	1
	生物Ⅱ	6	6	1	1	0	0	1	1
	地学Ⅰ	5	5	0	0	0	0	0	0
	地学Ⅱ	2	2	0	0	0	0	0	0
保健体育	保健体育	4	4	1	1	0	0	1	1
芸術	音楽Ⅰ	4	4	3	3	1	1	3	3
	音楽Ⅱ	4	4	4	4	1	1	4	4
	音楽Ⅲ	3	3	3	3	0	0	3	3
	美術Ⅰ	3	3	2	2	1	1	2	2
	美術Ⅱ	2	2	2	2	1	1	2	2
	美術Ⅲ	2	2	2	2	1	1	2	2
	工芸Ⅰ	1	1	0	0	0	0	0	0
	工芸Ⅱ	1	1	1	1	0	0	1	1
	書道Ⅰ	5	5	2	2	0	0	2	2
	書道Ⅱ	5	5	2	2	1	1	2	2
	書道Ⅲ	6	6	4	4	0	0	4	4

## 平成26年度使用教科用図書 統括表(5)

第2部 従来の学習指導要領(平成11年文部省告示第58号)に基づいて編集された教科書

## ◇普通教科

文部科学省検定済教科書				本県の選定数					
				高等学校		特別支援学校		計	
教科	種目(科目)	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数
外国語	オーラル・コミュニケーションⅠ	16	16	6	6	2	2	7	7
	オーラル・コミュニケーションⅡ	7	7	3	3	0	0	3	3
	英語Ⅰ	10	10	1	1	1	1	2	2
	英語Ⅱ	29	30	8	8	0	0	8	8
	リーディング	26	26	12	12	0	0	12	12
	ライティング	20	20	8	8	0	0	8	8
家庭	家庭基礎	11	11	2	2	1	1	3	3
	家庭総合	10	10	2	2	1	1	3	3
	生活技術	2	2	0	0	0	0	0	0
情報	情報A	15	15	4	4	2	2	5	5
	情報B	9	9	0	0	0	0	0	0
	情報C	9	9	1	1	0	0	1	1
	小計	533	543	166	167	27	27	175	176

## ◇専門教科

文部科学省検定済教科書				本県の選定数					
				高等学校		特別支援学校		計	
教科	種目(科目)	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数
農業	農業	23	23	12	12	0	0	12	12
工業	工業	65	73	44	49	0	0	44	49
商業	商業	32	32	23	23	0	0	23	23
家庭(専門)	家庭(専門)	6	6	5	5	0	0	5	5
情報(専門)	情報(専門)	6	6	5	5	0	0	5	5
福祉	福祉	4	4	3	3	0	0	3	3
	小計	136	144	92	97	0	0	92	97

文部科学省著作教科書				本県の選定数					
				高等学校		特別支援学校		計	
教科	種目(科目)	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数
農業	農業	8	8	3	3	0	0	3	3
工業	工業	15	15	10	10	0	0	10	10
水産	水産	10	12	4	4	0	0	4	4
家庭(専門)	家庭(専門)	5	5	4	4	0	0	4	4
看護	看護	4	6	3	3	0	0	3	3
	小計	42	46	24	24	0	0	24	24

## 平成26年度使用教科用図書 統括表(6)

第3部 従前の学習指導要領(平成元年文部省告示第26号)に基づいて編集された教科書

## ◇専門教科

文部科学省検定済教科書				本県の選定数					
				高等学校		特別支援学校		計	
教科	種目(科目)	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数	種類数	点数
農業	農業	2	2	0	0	0	0	0	0
商業	商業	2	3	0	0	0	0	0	0
	小計	4	5	0	0	0	0	0	0

## 平成26年度使用 高等学校教科書 選定状況

## 第1部 文部科学省検定済教科書

教科	種目(科目)	発行者	教科書名	選定学校数			選定率	選定/発行
				高校	特支	計		
数学	数学Ⅰ	東書	数学Ⅰ				0.0%	13/16
		東書	新編数学Ⅰ	8	1	9	15.3%	
		東書	新数学Ⅰ	12		12	20.3%	
		実教	数学Ⅰ	1		1	1.7%	
		実教	新版数学Ⅰ	2		2	3.4%	
		実教	高校数学Ⅰ	1	2	3	5.1%	
		啓林館	詳説 数学Ⅰ	1		1	1.7%	
		啓林館	数学Ⅰ				0.0%	
		啓林館	新編 数学Ⅰ	3		3	5.1%	
		数研	数学Ⅰ				0.0%	
		数研	高等学校 数学Ⅰ	4		4	6.8%	
		数研	新編 数学Ⅰ	3	1	4	6.8%	
		数研	最新 数学Ⅰ	10		10	16.9%	
		数研	新 高校の数学Ⅰ	6		6	10.2%	
	第一	高等学校 数学Ⅰ	1		1	1.7%		
	第一	高等学校 新編数学Ⅰ	3		3	5.1%		
	数学Ⅱ	東書	数学Ⅱ	1		1	1.7%	15/16
		東書	新編数学Ⅱ	10	1	11	18.6%	
		東書	新数学Ⅱ	11		11	18.6%	
		実教	数学Ⅱ	1		1	1.7%	
		実教	新版数学Ⅱ	3		3	5.1%	
		実教	高校数学Ⅱ	3	2	5	8.5%	
		啓林館	詳説 数学Ⅱ	1		1	1.7%	
		啓林館	数学Ⅱ				0.0%	
		数研	数学Ⅱ		1	1	1.7%	
		数研	高等学校 数学Ⅱ	6		6	10.2%	
		数研	新編 数学Ⅱ	3		3	5.1%	
		数研	最新 数学Ⅱ	5		5	8.5%	
		数研	新 高校の数学Ⅱ	5		5	8.5%	
		第一	高等学校 数学Ⅱ	1		1	1.7%	
		第一	高等学校 新編数学Ⅱ	3		3	5.1%	
	啓林館	新編 数学Ⅱ	2		2	3.4%		
	数学Ⅲ	東書	数学Ⅲ	3		3	11.5%	10/14
東書		新編数学Ⅲ	5		5	19.2%		
実教		数学Ⅲ	1		1	3.8%		
実教		新版数学Ⅲ				0.0%		
啓林館		詳説 数学Ⅲ	1		1	3.8%		
啓林館		数学Ⅲ	1		1	3.8%		
啓林館		新編 数学Ⅲ				0.0%		
数研		数学Ⅲ				0.0%		
数研		高等学校 数学Ⅲ	3		3	11.5%		
数研		新編 数学Ⅲ	4		4	15.4%		
数研		最新 数学Ⅲ	6		6	23.1%		
第一		高等学校 数学Ⅲ				0.0%		
第一		高等学校 新編数学Ⅲ	1		1	3.8%		
実教		高校数学Ⅲ	1		1	3.8%		
数学A	東書	数学A				0.0%	13/16	
	東書	新編数学A	13	2	15	26.8%		
	東書	新数学A	10		10	17.9%		
	実教	数学A	1		1	1.8%		
	実教	新版数学A	2		2	3.6%		
	実教	高校数学A	2	1	3	5.4%		
	啓林館	詳説 数学A	1		1	1.8%		
	啓林館	数学A				0.0%		
	啓林館	新編 数学A	2		2	3.6%		
	数研	数学A				0.0%		
	数研	高等学校 数学A	4		4	7.1%		
	数研	新編 数学A	4		4	7.1%		
	数研	最新 数学A	7		7	12.5%		
	数研	新 高校の数学A	4		4	7.1%		
	第一	高等学校 数学A	1		1	1.8%		
	第一	高等学校 新編数学A	2		2	3.6%		
	数学B	東書	数学B	2		2		5.3%
東書		新編数学B	8		8	21.1%		
実教		数学B				0.0%		
実教		新版数学B	3		3	7.9%		
実教		高校数学B	3	1	4	10.5%		
啓林館		詳説 数学B	1		1	2.6%		
啓林館		数学B	1		1	2.6%		
啓林館		新編 数学B	1		1	2.6%		
数研		数学B				0.0%		
数研		高等学校 数学B	5		5	13.2%		
数研		新編 数学B	3		3	7.9%		
数研		最新 数学B	3		3	7.9%		
数研		新 高校の数学B	3		3	7.9%		
第一		高等学校 数学B	1		1	2.6%		
第一		高等学校 新編数学B	3		3	7.9%		
数学活用	実教	数学活用	9	1	10	76.9%	2/2	
	啓林館	数学活用	3		3	23.1%		
				238	13	251		

平成26年度使用教科用図書の採択の一部変更について

学校名	発行者及び教科用図書		理由
	変更前	変更後	
県立酒田東高等学校 (1年 数学)	文部科学省検定済教科書 ○数学Ⅰ 「数学Ⅰ」(実教出版)	文部科学省検定済教科書 ○数学Ⅰ 「数学Ⅰ」(実教出版) ○数学Ⅱ 「数学Ⅱ」(実教出版)	教育課程の変更

○「数学Ⅱ」(実教出版)の選定理由

基礎的内容から応用まで、幅広く考える問題が多く、問題解決能力をつけることができる。必要な公式、定理等はもれなく掲載しており、重要事項の徹底ができる。応用例題では、場合分けや文字の扱いが、理解しやすいように図を入れ丁寧に説明されており、本校の生徒にとって最適である。

○使用開始時期

平成26年12月